

2025年7月31日(木)



三条の人事部 コンソーシアム

第3回準備会ミーティング

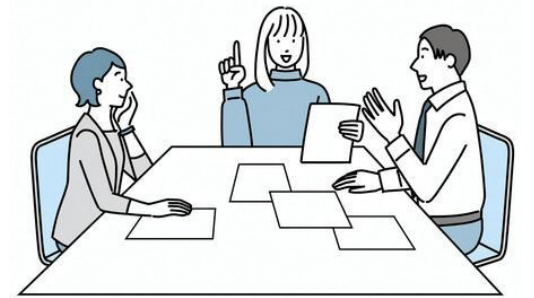
コンソーシアム設立に向けた今後の動き

時期	内容・テーマ
2025年5月30日（金）	コンソーシアムメンバーによる顔合わせとキックオフ ・メンバーによる相互理解、チームビルディング ・コンソーシア版「チームキャンバス」の検討
2025年6月30日（月）	事業ブラッシュアップ ・コンソーシアムで提供する事業サービスの共有、サービス統合や連携協働も視野に入れたブラッシュアップ ・KPI等の評価計画ワーク
2025年7月31日（木）	メンバー間での発表会 ・領域ごとのサービスや事業の共有とフィードバック ・今後の事業計画の作戦会議 ・自社（個人）としての目標設定
2025年9月19日	三条の人事部コンソーシアム お披露目イベント

※現時点の予定であり、変更になる可能性があります

本日のプログラム（17:00-19:00）

- ・ オープニング
- ・ チェックイン
- ・ 前回の振り返り
- ・ プレゼンに向けたミーティング
- ・ ポスターセッション型プレゼン
- ・ 今後に向けた作戦会議



三条の人事部コンソーシアム準備会の目的

- 「三条みらい人材会議」で検討されてきたビジョンと課題に向けて、実施する事業と実行に移すメンバーについて目線合わせをし、相互理解を深める
- 9月発足するコンソーシアムに対して、組織体制と運営システムについて確認し、具体的な役割を分担を行う。





前回の振り返り

-第2回キックオフミーティング-

これまでの様子は三条市公式noteもご覧ください



これまでのワークショップから見えてきた、
コンソーシアムでまず取り組みたい

4つの重点事業

① キャリア教育（共育）支援事業



【目的】

- ・子どもたちが三条で育ち、将来働きたいと思える「土壌づくり」をする
- ・地元企業の社員が地域の子ども・若者たちに関わることで人材育成力を鍛え、キャリア開発を促す

【実施すべき事業例】

- ・地元企業と教育機関の連携（例：「三条キャリア教育バンク」の活用）
- ・学生の地元企業見学、夏季バイトや有償インターン制度創出
- ・家族や保護者を巻き込んだ企業案内イベント（家族を会社に招くオープンカンパニー）
- ・若手社員と高校生の対話機会づくり、産学連携実習の強化
- ・中学高校の総合学習、探究やPBLへの企業協働マッチング

②企業の環境整備・人材支援事業



【目 的】

- ・企業側の育てる／定着する環境を構築し、人的資本経営を支援
- ・短期的な対処療法だけでなく、長期的な経営課題視点の取り組みを促進

【実施すべき事業例】

- ・働き方改革や人事制度構築等の人事課題のハンズオン支援
- ・経営課題抽出／整理と人材サービス活用マッチングのコーディネート
- ・採用広報のサポートプログラム（例：ビジョンと求める人材像の策定）
- ・経営層、マネージャー層向けの人材育成プログラム
- ・従業員の中長期的な成長を支援するキャリア開発

③企業の魅力創出／発信と発信人材育成事業



【目 的】

- ・地域内外から“人材に選ばれる企業”の土台と基準を整備する
- ・企業視点の強みではなく、人材視点の魅力を磨き地域内外に発信する

【実施すべき事業例】

- ・企業の強みと職場の魅力整理、SNS・動画発信ワークショップ
- ・発信力を強化するローカルインフルエンサー養成（学生・若手対象）
- ・「三条の人事部オウンドメディア」で企業ストーリーを連載・映像化
- ・インターンシップや職場体験等の担当者研修（仕事の魅力の言語化とPR方法）
- ・採用広報ノウハウを内製化するリクルーター養成講座

④地域コミュニティと企業による共創支援事業



【目的】

- ・地域との関わりしろをつくり、三条で働く意味、誇りを体感できる機会の創出
- ・老若男女、域内外の人が日常的に出会う場をつくり繋がりを高める

【実施すべき事業例】

- ・学生、地域と企業の協働プロジェクト（例：まちづくりやイベント運営）
- ・企業スポンサー型のカフェ、交流空間の設置（例：学生無料のバー）
- ・外国人や若者参加型のローカルフェスやフードイベントの企画運営
- ・ボランティアやプロボノ等の地域内複業のマッチング
- ・社会人と学生と一緒に参加する「まちの部活動」

事業・施策

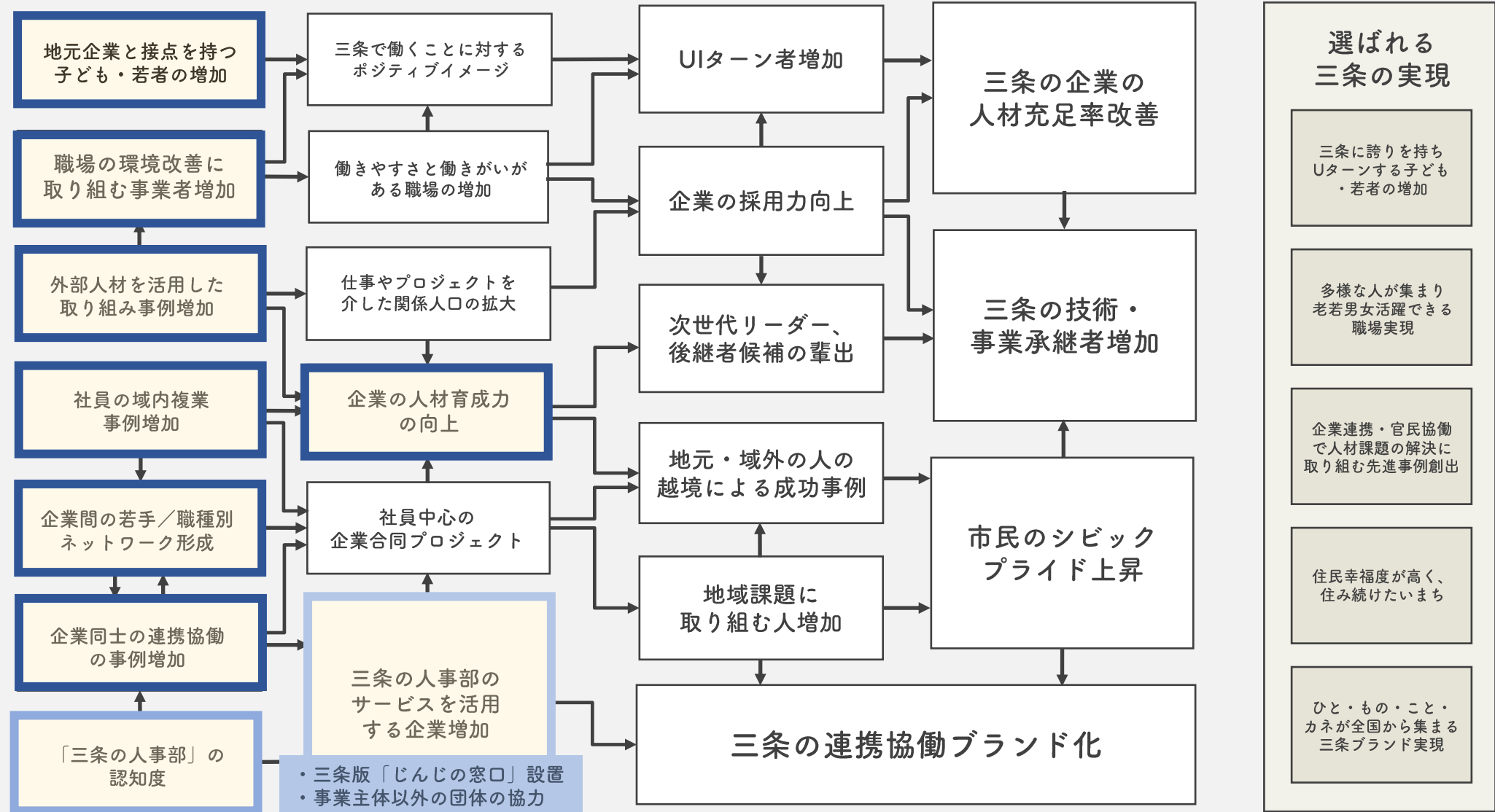
社会的成果

初期成果

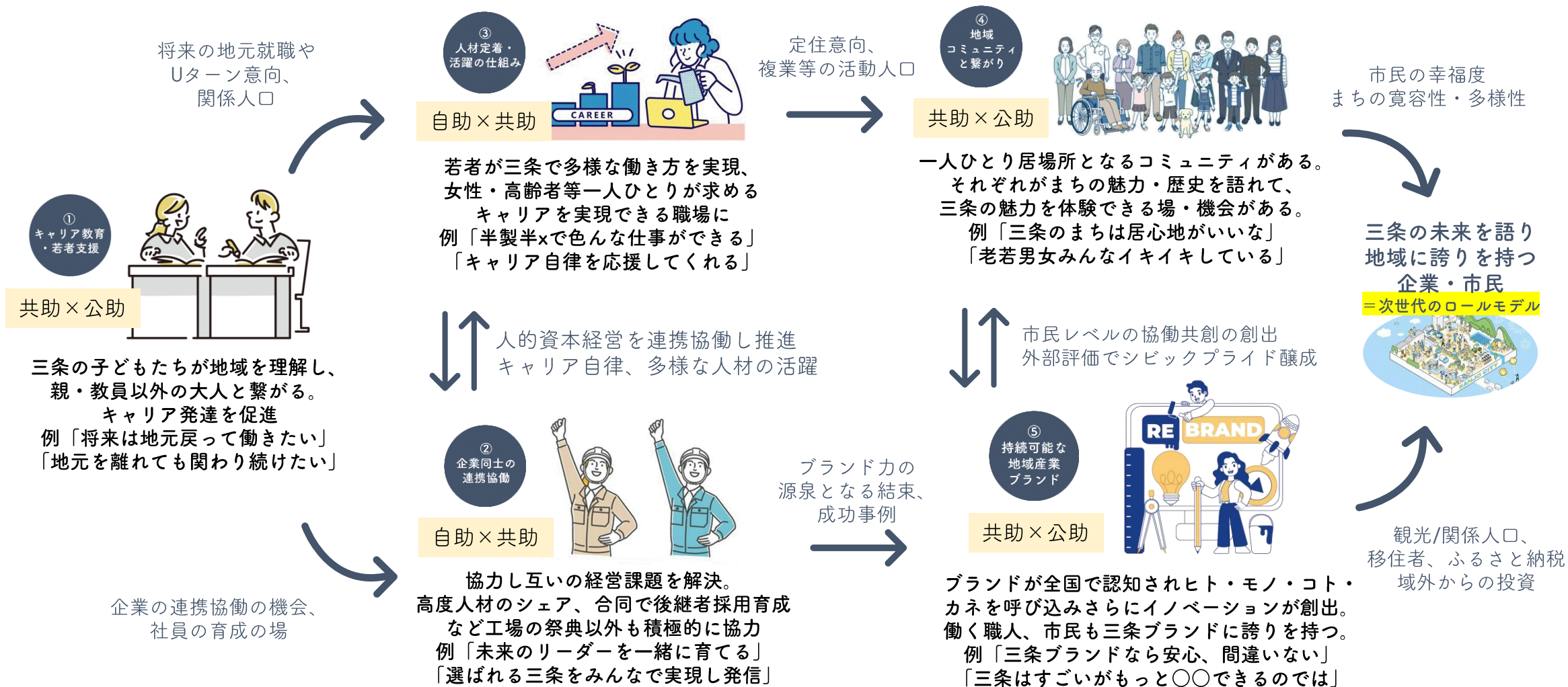
中間成果

長期成果

成果を生み出すアクション

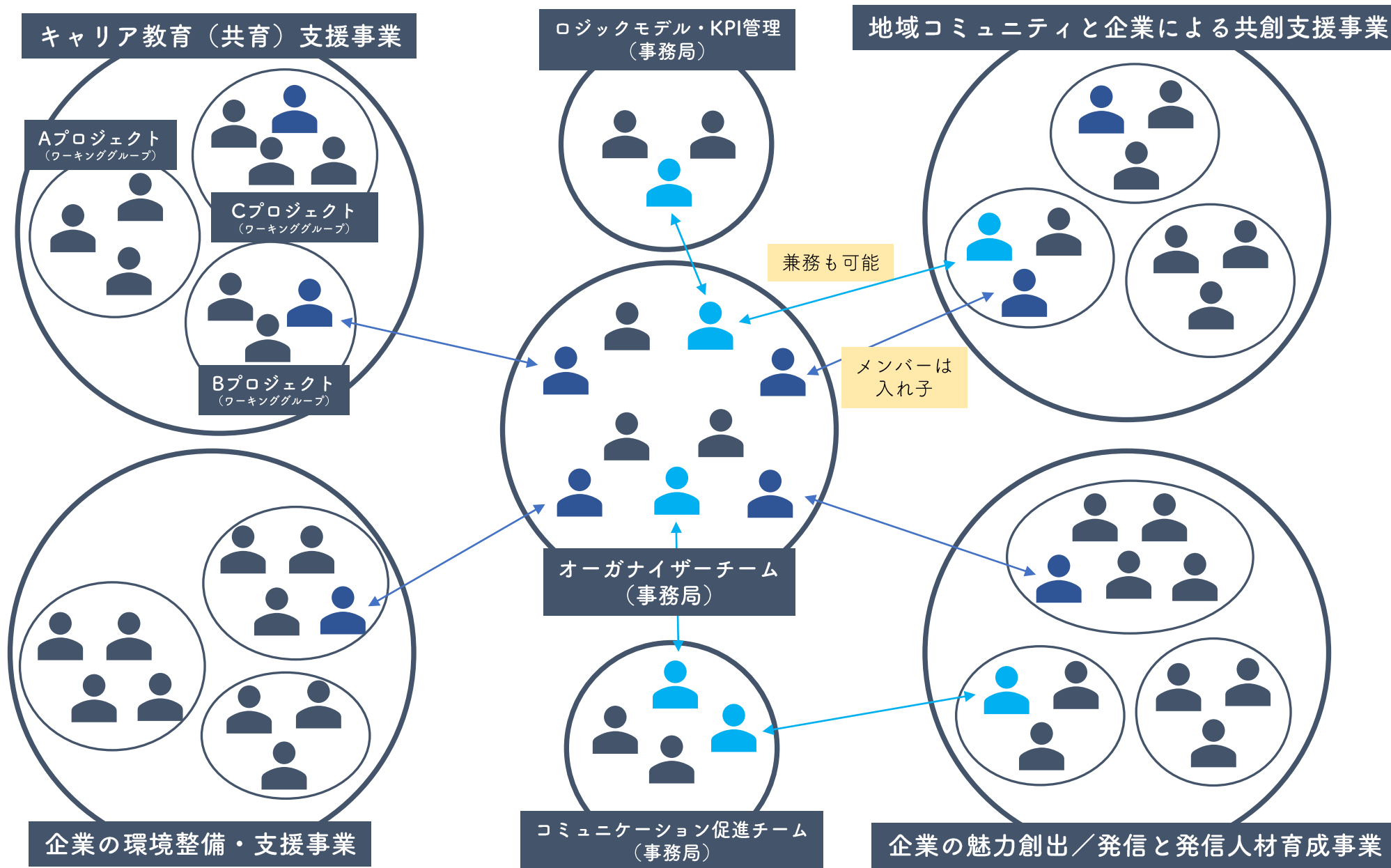


“選ばれる三条市”の未来シナリオ（案）



コンソーシアムの組織体制案

ワーキンググループ：コンソーシアムの成果やKPIに直接関与する事業グループ
事務局：コンソーシアムの維持管理、成果創出に貢献する企画運営グループ



ホラクラシー導入 5 つのポイント

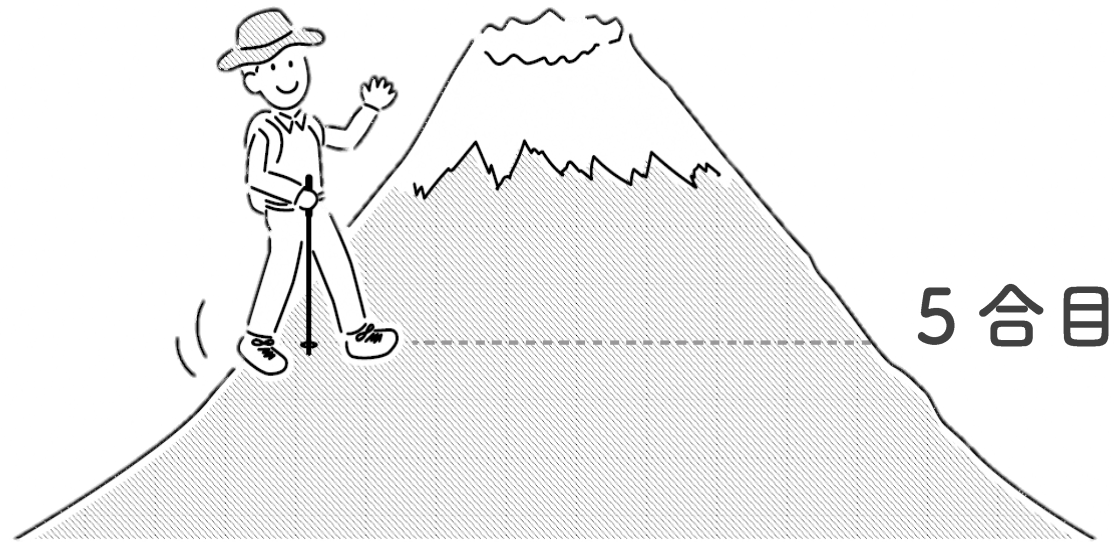
1. パーパス
2. ルール
3. ロール
4. 助言プロセス
5. 情報のオープン化



KPI設定と評価計画 について

なぜ、指標が大事なのか？

事業活動（アクティビティ）を改善するためには、どんな成果が上がったかという事実を多様な方法で集めて測定し、うまくいっているのか、うまくいっていないのかを「評価」する必要があります。



evaluation（評価）とは、ex（引き出す）＋ value（価値）…評価とは、物事の価値を明らかにする

評価は「なにを評価するか」からはじまる

- ① ニーズ評価 : 活動や戦略は社会のニーズと合致しているか
- ② セオリー評価 : アクティビティは目的達成のために妥当か
- ③ プロセス評価 : アクティビティは意図通りに実施されたか
- ④ アウトカム評価 : アクティビティの効果はあがっているか
- ⑤ 費用対便益等 : アクティビティは効率的に実施されているか

①「何のための評価なのか」を明確にする

何のために評価するのか。事業改善や事業開発のためか、メンバーの目線合わせか、ビジョン実現ためかなどを設定する前に検討する。

②評価目的に合った指標の種類を選ぶ

「共通指標」と「独自指標」の2つの指標を意識して設定する。

共通指標

外部評価のための指標
みんなが納得しやすいもの

OR
&

独自指標

内部評価のための指標
自分たちのこだわりのもの

③定量指標と定性指標の特性を活かして設定する

成果指標には、数値などでわかりやすく表される「定量的」なもの、言葉や状態などで表現される「定性的」なものの2種類がある。この二つに優劣はなく適切な使い分けをすることで、社会価値を効果的に測定することができる。

定量

状況を比較する
比べることで伝わる

OR
&

定性

状況を描写する
物語等で伝わる

社会的インパクトの評価方法を明確にする「評価計画表」

ロジックモデル の言葉	対応する事業	指標	データ収集方法	情報源	測定タイミング	評価基準
アウトプット の文言 例：地元企業と 接点を持つ子ども・若者の増加	アクティ ビティ (事業・サー ビス) 例：地元企業の若 手社員と実施する キャリア教育プロ グラム	何を測るか 例：地元企業 に対するポジ ティブイメー ジ	どうやって 集めるか 例：参加者向け の満足度五件法 と自由記述のア ンケート	誰に聞くか 例：参加した 生徒	いつ 集めるか 例：プログラ ム 参加前と参加 後	何を基準 に判断する 例：参加前後 の比較

単独でもやる（やれる）事業・サービスだけど、 コンソーシアムに参画して実施する意義・価値は？



- ①メンバー同士で連携し、資源の共有や強み（弱み）の補完ができ、相乗効果をねらえる。
- ②事業・サービスのアウトカムを共有し、みんなで取り組みの方向性と進捗を確認し動いていける。

コンソーシアム参画に向けた事業・サービス整理シート

氏名：

所属：

目 的 (WHY)	重点事業+ロジックモデル（未来シナリオ）を踏まえて、コンソーシアムで自身が解決したい問題やテーマ	対象/ステークホルダー (Who)	人数や属性できるだけ具体的に記載 （例：三条市内の中高生300人、市内企業40社）
事業/ サービス名 と簡単な概要 (What)	名称は30文字程度で動詞的に表現。 概要は一言でいうと何をするのかを記入	期待する成果	「〇〇ができるようになる」「〇〇の機 スに 化
Give 自分/自社が できる資源	人材・知見・ネットワーク・場所・資金など”無理なく出せる”もの/ことを具体化	事業・サービス KPI	数値 ケー
		実現にあたって 想定される リスクや課題	いま リス ※コン
Need 欲しい資源/ サポート	形式（人・モノ・予算）+量（h,万円,回数）で書くと現実的に調整しやすい	実現までの ステップ （初期3か月）	コン 提供 の動 例:8月

社会的インパクトに向けた評価計画シート

氏名：

①ロジックモデルの言葉	②対応する事業	③指標	④データ収集方法
⑤情報源	⑥測定タイミング	⑦評価基準	備考欄



プレゼンに向けた ミーティング

ワーキンググループ①

グループネーム



三条の人事部
コンソーシアム

WGで取り組む主要なテーマ

- ① テーマを表すキーワードや単語
- ② テーマを表すキーワードや単語
- ③ テーマを表すキーワードや単語

補足や解説コメントなどを自由に記入

発足時のWGメンバー

氏名	所属	事業・サービス	主な担当ロール

WGがめざす成果（KPI）の一例

実現したい成果
定性定量で
端的に表現

例イベント参加学生

150人

実現したい成果
定性定量で
端的に表現

例イベント参加学生

150人

実現したい成果
定性定量で
端的に表現

例イベント参加学生

150人

スケジュール

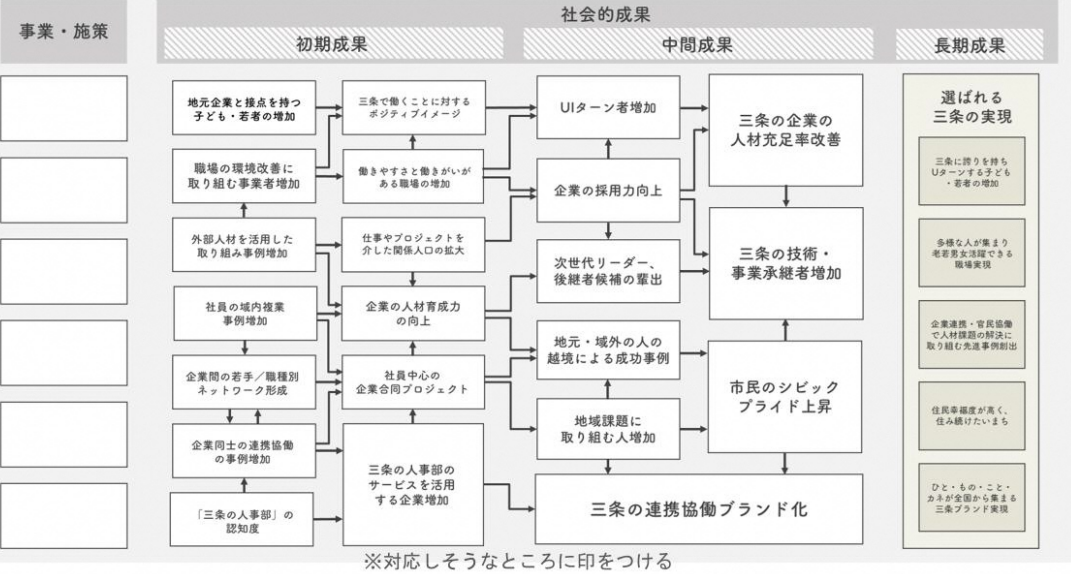
年月	日程・内容	対象
2025年10月		
2025年11月		
2025年12月		
2026年1月		
2026年2月		
2026年3月		

三条の人事部版 社会的インパクトを生み出すロジックモデル案

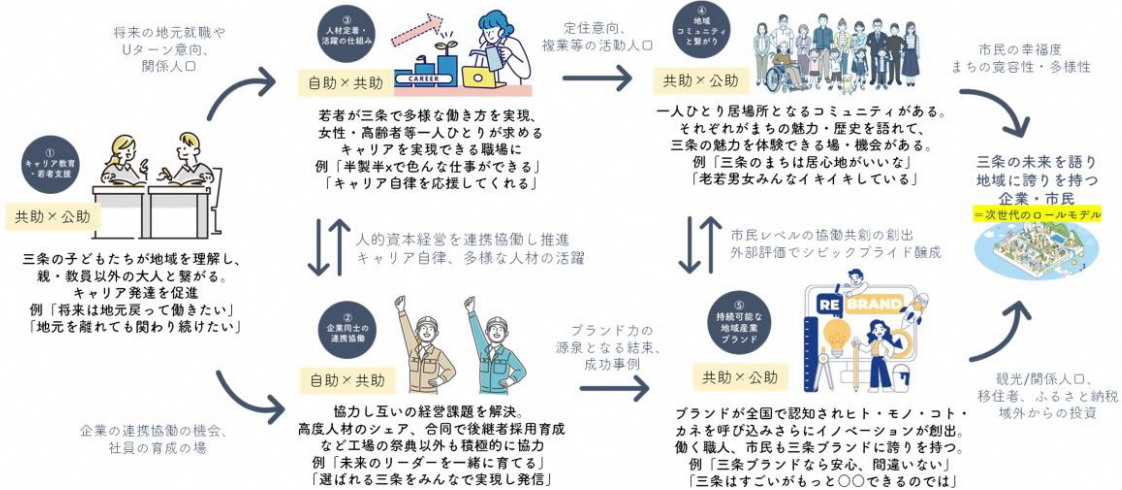
成果を測る指標

職となる重要な成果

Ver.1.0



“選ばれる三条市”の未来シナリオ（案）



グループ共通で大事にしたい価値観やビジョン

例：長期的な視点を持って判断する
三条で働く一人ひとりの人生を応援したい
若者が「帰ってきたい」と思わせる会社を増やして発信する
三条に移住してよかったと思えるまちをつくる

成果創出に向けた体制のポイント

例：企業の皆さんに知ってもらうために、発信は全員で分担する
商工会さんと連携協力する
イベントはお互いに告知や運営に協力する
ミーティングは2か月に1回、連絡相談はまめに行う
対面ミーティングは年1回実施し、合わせてメンバーで懇親会を行う

三条の企業・地域・人材へメッセージ

メッセージやコメント、図や画像など自由に！



スライドフォーマットデータ
(Googleスライド)

- ・枚数は適宜増やしてください。グループでミーティングを行い、内容を検討して記入して下さい（30分）
記入は手書きまたはPCによるデータ作成どちらでもOK
- ・記入後、ポスターセッション型プレゼンを行います（10分）

A large group of people, mostly men in business suits, are gathered in a bright, modern meeting room. Many are wearing face masks. They are standing around long tables, looking at documents and talking. The room has large windows and a high ceiling. The overall atmosphere is professional and busy.

今後に向けた作戦会議

9月19日の発表会に向けて、各チームで以下について時間を使って話し合ってください（15分）

- * 事業サービスのスケジュール
- * グループで行うミーティングや連絡手段の確認
- * ロールについての分担の確認
- * 発表スライドのブラッシュアップ etc.



コンソにおける
目標を考える

コンソにおける目標を探求しましょう

- ・ 三条の人事部コンソーシアムへの参画／活動を通じて実現したい、私（自社）理想の状態は？
- ・ 私（自社）が今年度末時点で生み出したい、“最初の成果”は？

自身のやりたいこと／目標とコンソーシアムの未来シナリオを交差するように考えましょう

コンソーシアム設立に向けた今後の動き

時期	内容・テーマ
2025年5月30日（金）	コンソーシアムメンバーによる顔合わせとキックオフ ・メンバーによる相互理解、チームビルディング ・コンソーシア版「チームキャンバス」の検討
2025年6月30日（月）	事業ブラッシュアップ ・コンソーシアムで提供する事業サービスの共有、サービス統合や連携協働も視野に入れたブラッシュアップ ・KPI等の評価計画ワーク
2025年7月31日（木）	メンバー間での発表会 ・領域ごとのサービスや事業の共有とフィードバック ・今後の事業計画の作戦会議 ・自社（個人）としての目標設定
2025年9月19日	三条の人事部コンソーシアム お披露目イベント

※現時点の予定であり、変更になる可能性があります